

高校生向けⅡ（主権者として税の意義と社会のあり方を考えよう） ～Syllabus～

1. 授業の概要

「模擬選挙」を題材にして、主権者として税の意義と社会のあり方を考える

2. 到達目標

- 立場の違いによって税に対する異なる考え方があることを理解し、自分のことだけではなく他の人の立場にも立って考える
- 税の意義や役割、この国の財政の現状を理解する
- 一人一人が「税」について関心をもって、主権者として自分の意見を社会に届ける大切さを理解する

3. 構想

段階	学習範囲	学習内容
導入	税金の意義や役割	○自分たちの暮らしと税との関わり ○財政に果たす税の役割や現状
展開	選挙をイメージして、候補者の公約（例題）を検討する	○A党、B党、C党の候補者の公約を発表し、グループで長所・短所などを検討 ○それぞれの立場や価値観の違いを理解し、自分の意見をまとめる
まとめ	税を通してみる社会の仕組み	○実例を取り上げ、実際の選挙でも税の集め方や使途が主なテーマになることを紹介 ○税を通して社会のあり方を考え、主権者として自分の意見を社会に届ける大切さ

4. 展開（タイムスケジュール）

項目	内容	時間
<挨拶・自己紹介> ・講師の自己紹介 <税金ってなに？> ・税金の意義や役割	・自己紹介、税理士の職業紹介、授業の流れの説明 ・国の財政を題材に、税の意義や役割、使われ方について説明	15分
<模擬選挙> ・各候補者の公約を発表 ・グループワーク ・投票	・選挙をイメージし、A党、B党、C党の公約（例題）を発表する（5分） ・各候補者の公約を年齢や性別、職業などの立場の違いに基づいて評価し、それぞれの公約の長所、短所を考える（5分） ・自分なら誰に投票をするかを理由も含めて考える（5分） ・グループの中でほかの人がどのように考えているのか意見を聞き、話し合う。（5～10分） ・グループごとにどのような意見があったかを発表する。（5～10分）	30分
<まとめ> ・国民主権、議会制民主主義と税との関係	・国民主権のもと、選挙を通じて税制や予算が決定されるプロセスに参画する大切さを考える	5分